

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング ～ ゴールデンウィーク中の推移 ～

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

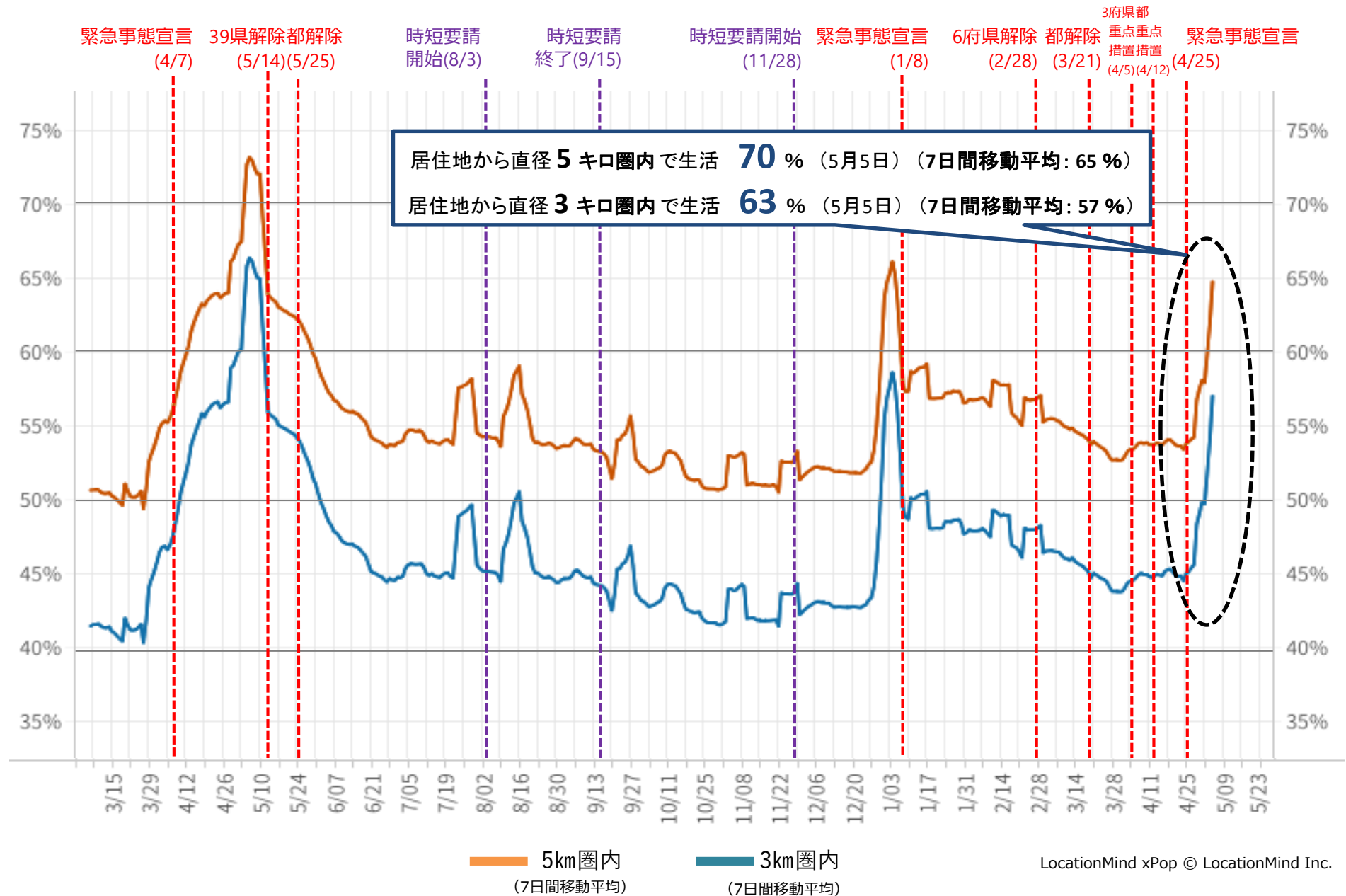
都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

要点

- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内の移動で生活を完結した都民の割合（ステイホーム指標）は、5月5日時点でそれぞれ**70%**、**63%**。GW期間中、多くの都民がステイホームに協力。
- 主要繁華街の夜間滞留人口・昼間滞留人口ともに大幅に減少。2回目（前回）の緊急事態宣言中の最低値を大きく下回る。緊急事態宣言前の週と比較すると、緊急事態宣言後1週間で昼間滞留人口は**36%減**、夜間滞留人口は**42%減**。
- 今後、変異株の影響を考慮しつつ、実効再生産数や新規感染者数がどの程度減少するかを慎重に見極め、リバウンドを防ぐ必要あり。その間、人流の抑制を継続することが重要となる。

ステイホーム指標（2020年3月1日～2021年5月5日）：東京都内全域

居住地圏内滞在率



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年5月5日）

繁華街
滞留
人口
(人)

Go To Eat予約/
Travel東京対象
開始(10/1)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言
(1/8)

6府県解除
(2/28)

都解除
(3/21)

3府県
重点
措置
(4/5)

3都府県
重点
措置
(4/12)

4県
重点
措置
(4/20)

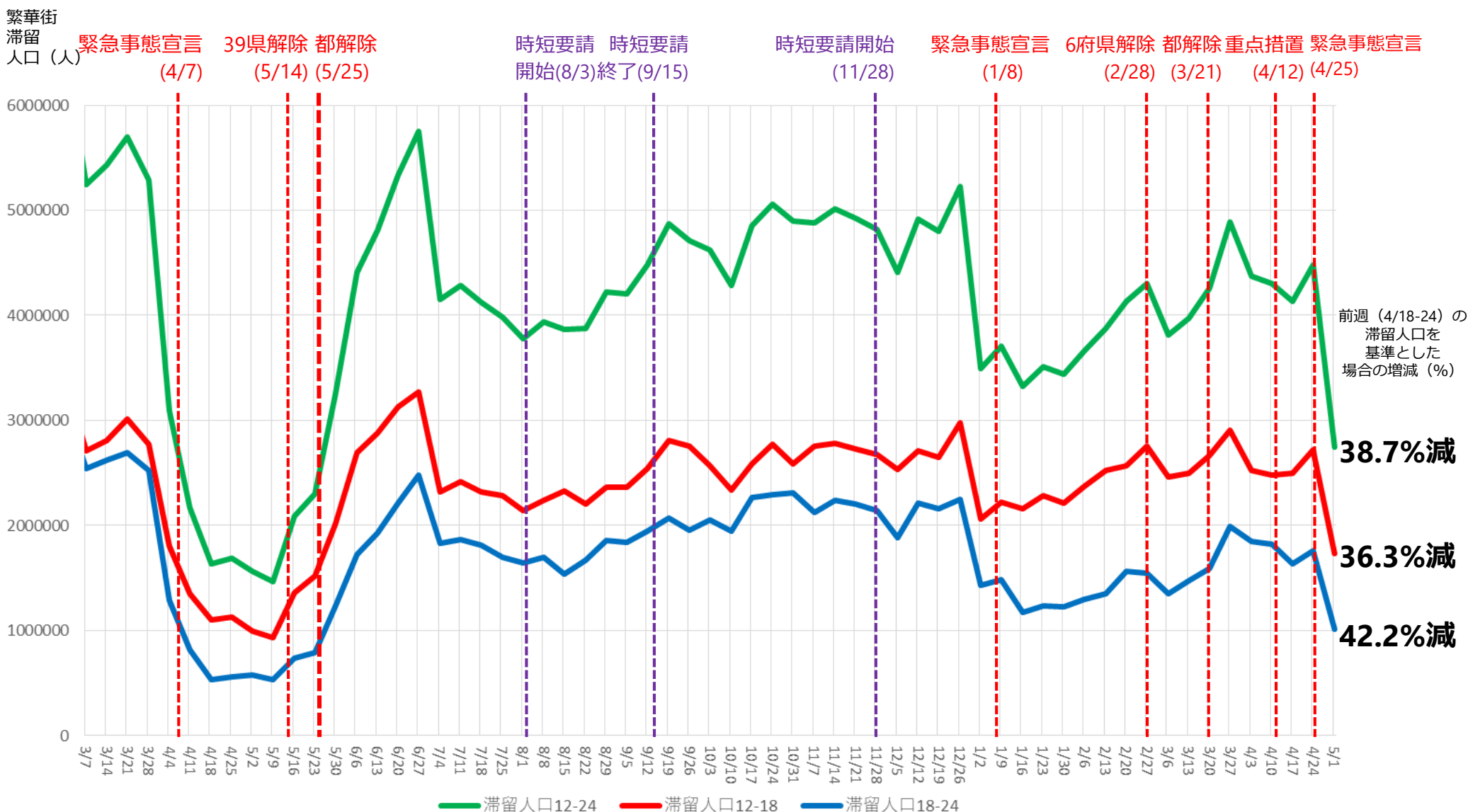
緊急事態宣言
(4/25)

滞留人口

滞留人口

滞留人口(12~14) 滞留人口(14~16) 滞留人口(16~18) 滞留人口(18~20) 滞留人口(20~22) 滞留人口(22~24)

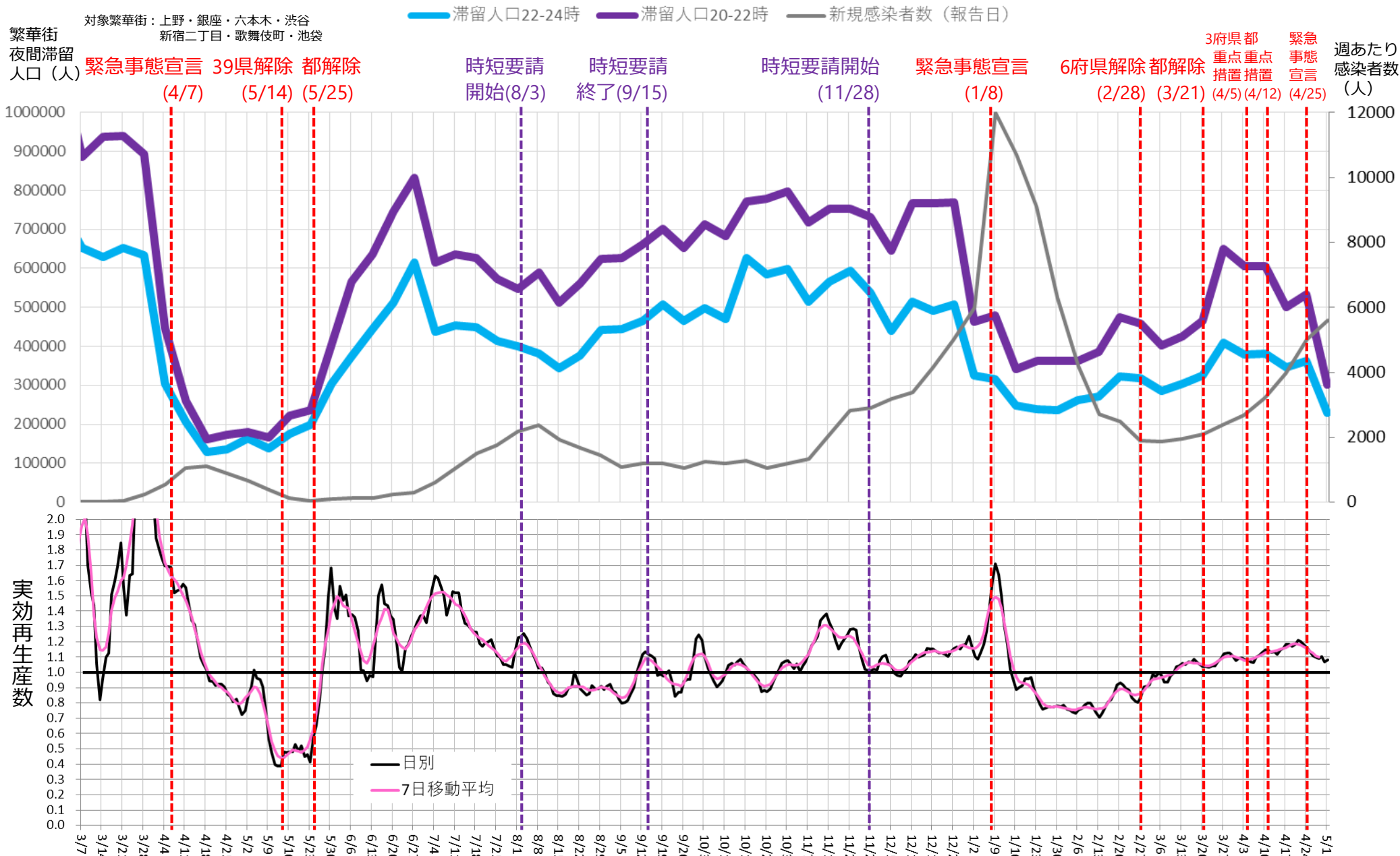
時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2021年5月1日）



GW中（21.4.29-5.5）の繁華街滞留人口と 1回目・2回目の緊急事態宣言中最低値との比較

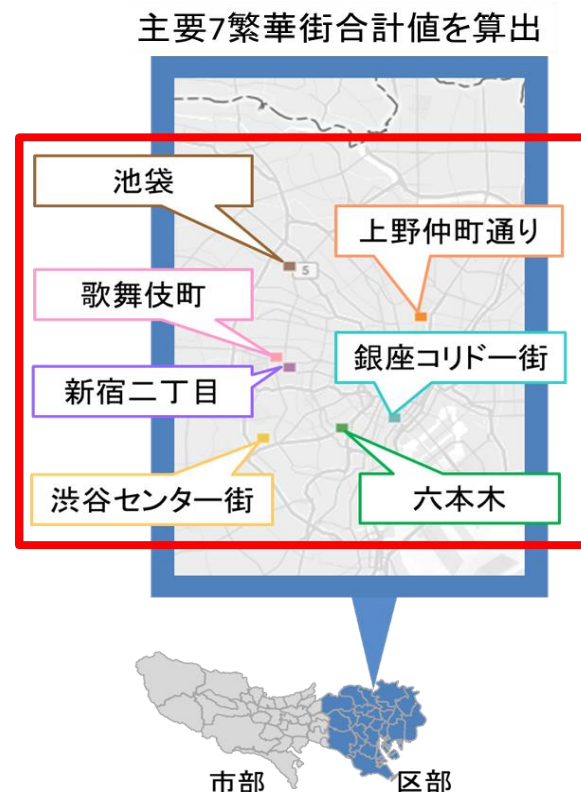
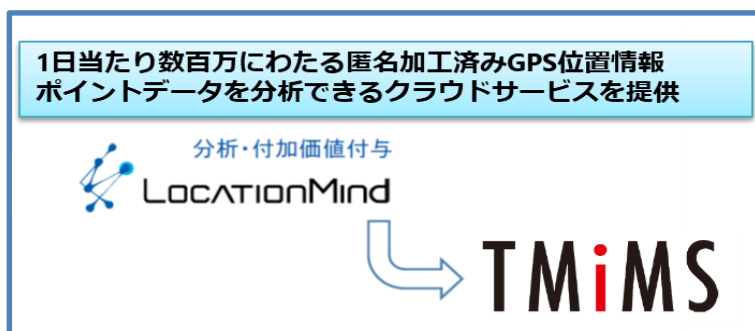
		1回目の緊急事態宣言	2回目の緊急事態宣言
東京	最低時点 (週単位)	20.5.3-9	21.1.10-16
	昼：12-18時	1.67倍	0.72倍
	夜：18-24時	1.56倍	0.71倍
大阪	最低時点 (週単位)	20.5.3-9	21.1.17-23
	昼：12-18時	1.17倍	0.52倍
	夜：18-24時	1.06倍	0.54倍

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年5月1日)



ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定** ※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント